

科目	ヘルスアセスメント			
時間数	1単位 30時間			
講師名	③伊藤純子 ③神野みのり 補助(③矢野美穂)			
実務経験	③看護師(医療機関)	授業方法	講義、演習	授業時期 1年
ねらい	対象の健康状態を総合的に理解するために必要な症状・生体機能管理技術(バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、身体計測)を単独で実施できるレベルまで到達できる			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象を総合的に理解し看護を展開するために必要な観察の意義と方法について理解できる。(フィジカルアセスメント) 2. 身体計測の方法を学ぶ。 3. 看護実践における記録・報告の意義と方法を学ぶ。 4. バイタルサインの意義を理解し、正常・異常の判断ができる。 5. 体温・脈拍・呼吸・血圧の測定ができる。 6. 測定値のアセスメントができる。 			
授業計画				
回	内容			
1				
2	バイタルサインの観察とアセスメント①			
3	バイタルサインの観察とアセスメント② ・バイタルサイン測定方法			
4	バイタルサインの観察とアセスメント③ ・フローシート記入、報告方法			
5・6	実技テスト			
7・8	フィジカルアセスメントに必要な技術 系統別フィジカルイグザミネーション①筋・骨格系・神経系・感覚器系・外皮系			
9	系統別フィジカルイグザミネーション②消化器系・乳房・腋窩			
10	系統別フィジカルイグザミネーション③呼吸器系			
11	系統別フィジカルイグザミネーション④循環器系			
12・13	事例演習 症状・徴候からのアセスメント			
14	振り返り・まとめ			
15	筆記テスト			
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 70%、実技テスト 20%、記録物提出状況 5%、その他オンライン教材取り組み状況 5%を総合して評価する。実技試験の合格かつ筆記試験 60%以上の取得、総合 60点以上を及第点とする。			
教科書	基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第3版:医学書院			